

■伊勢貞宗 室町幕府政所執事。伊勢流武家故実の大成者。

いせさだむね

・・・・・・1444= 生。政所執事伊勢貞親の子。

・・・・・・1453= 9歳：

寛正大飢饉終1462=18歳：

貞宗は父が斯波家の家督問題で専横の振舞いがあったとき泣いて諫言し、かえって幽居させられたという話が伝えられるように、穏和・堅実な人物で、

・・・・・・1465=21歳：義尚の誕生以来、父とともに養育にあたり、

・・・・・・1466=22歳：父貞親が斯波義敏・蔭涼軒真薬らと京都を出奔後、將軍義政の命により、後を継いで政所執事となる。

応仁の乱始・1467=23歳：

・・・・・・1468=24歳：帰京した父がこの職に復するが、

蓮如吉崎御坊1471=27歳：*父の出家によって再任される。

足利義政隠居1473=29歳：*義尚が元服して將軍となるとその地位は高まり、

本来の政所執事職のほか種々の訴訟・政治の分野にも広く活躍する。

・・・・・・1476=32歳：この年、足利義尚が貞宗邸に移る。

応仁の乱終・1477=33歳：

・・・・・・1480=36歳：義尚が義政と対立して髪を切って遁世しようとしたときにはこれを諫止し、

兼良+一休没 1481=37歳：奉公衆と奉行人との抗争から義政の出家という事態を迎えたときも、義政・義尚および諸大名の取りもちに奔走している。

応仁の大乱とその後の難局をともかくも凌ぎぬいた功績は大きく、

太田道灌暗殺1486=42歳：山城国一揆に際して、山城国を料国として貞宗・貞陸父子が守護に任じられる。

銀閣寺完成・1489=45歳：

足利義政没・1490=46歳：*義材が將軍となると、政所執事の職は子の貞陸に譲るが、御伴衆としての活躍はむしろ盛んになり、

・・・・・・1498=54歳：

細川政元殺害1507=63歳：

・・・・・・1509=65歳：没した。

殿中の礼式・故実に精通して、「伊勢兵庫頭貞宗記」「貞宗聞書」「笠懸射手体配記」などを著したり、多くの秘説を伝授するなど、伊勢流武家故実の大成者ともいわれる。